



こんにちは

日本共産党

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

集まろう憲法を守る
3000人

11月3日に円山音楽堂で2400人の参加による集会が開かれました。「生かそう憲法、守ろう9条 安倍9条改憲NO! 市民と野党の新たな共同の発展、3000万署名運動の成功を!」と題して、会場いっぱい参加者と、野党の代表、市民の代表が一つになった集会でした。日本共産党からは穀田衆議院議員が挨拶をされました。総選挙で頑張った金森とおるさんも参加し、市役所までパレードをしましたが、国会では改憲派が3分の2を占めていますが、憲法、特に9条の改悪には反対の世論が過半数に上っています。3000万人署名を集め切り、改憲の発議ができない世論をつくりましょう!



市議会の論戦

突然の解散総選挙の間は休会し、投票日翌日から再開した9月議会が2日に終了しました。西野市議の主な質問は次のとおりです。

敬老乗車証制度をまもるべき

京都市は市民新聞や市民アンケートで「敬老乗車証制度に係る46億円を子育てに使える24000人分の保育所ができる」と市民の分断を図って、今の制度の廃止を狙っています。すでに市民の皆さんからは3万人以上の署名が届けられています。西野市議は「せめて今の制度のままに残してほしいというのが市民の声だ。高齢者の健康増進のためにも今の制度の廃止は許されない!」と怒りをもって質問しました。



市内高速道路未着工3路線は直ちに廃止を!

門川市長は市長選挙でも「廃止」と公約していた市内高速道路の未着工3路線の廃止の手続きをまだしていません。都市計画法でも「遅滞なく進めるべき」と定められているのに、3年以上も伸ばしています。一方で「京都駅西側の堀川通が狭くて渋滞する」と、高速道路計画とそっくりの地下トンネル計画が浮上しています。渋滞と言っても信号待ち程度です。西野市議は「早急に都市計画決定の廃止、車も人口も減少傾向にある。無駄な地下トンネルバイパスは必要ない」と、財政難と言いながら、まだ、大型公共工事にしがみつくと京都市を質しました。

「白タク」合法化の規制緩和は認められない

西野さち子市議は、

11月2日の終了本会議に提案された「ライドシェア」と「白タク」行為に関する意見書への討論を行いました。共産党議員団は、自民党・公明党・無所属議員から提案されたものには賛成し、維新の会からの提案には反対しました。政府は、「ライドシェア」と言って公共交通の不便な地域に、スマートフォンなどを使って申し込めば、一般の自家用車で送迎してもらえる制度を広げようとしています。これは、禁止されている「白タク」を合法化するものです。もし、事故などがあってもだれも責任を持ちません。利用者の安全を守るためには、公共交通の拡充こそが必要だと求めました。

